

令和3年3月12日 予算特別委員会

予算に関連した内容を、一問一答形式で質問

誰でもわかるバス位置情報の提供を

質問 大雪などバスの定時運行が困難な時に、バスの位置情報を示す、「とやまロケーションシステム」と連動したデジタルサイネージ(表示盤)を病院や駅に設置すべきだ。

回答(観光・交通振興局長) 今冬1月の大雪時には「とやまロケーションシステム」へのアクセス数が通常の3倍の1,660回になり、利用ニーズが増加した。バス位置がわかるデジタル

サイネージは事業者や関係市町と相談しながら、取り組みたい。

「とやまロケーションシステム」はバスを安心して待てる、乗れるシステム。高い利便性をさらに周知されたい。



(録画中継 QRコード)



岡崎信也(立憲民主党・県民の会)

副知事に求められる資質や役割

質問 副知事複数制が議論になっているが、現職である山崎副知事から副知事に対する役割を問う。

回答(副知事) 副知事は議会の同意を経て選任され、その役割については地方自治法で「知事の命を受け政策及び企画をつかさどり、その補助機関である職員の担任する事務を監督する」とされている。知事の理念と理想を理解し、共有しながら知事の日

となり耳となり補佐していく必要がある。

副知事複数制を富山県行政で活かすにはそれぞれに求める役割を明確にする必要がある。



(録画中継 QRコード)



針山健史(自由民主党)

富山児童相談所の複合拠点化について

質問 富山児童相談所の複合拠点化について、県内市町村、特に中核市の富山市との協働について問う。

回答(知事) 富山児童相談所の機能強化については、女性相談センターや障害者相談センター、子ども発達支援センターなどとの連携のあり方や、奥野委員提案の複合拠点化を含め、中核市である富山市はもとより県東部

の各市町村と十分協議しながら検討を進めたい。

複合拠点化については、約2年前から具体的な施設機能を挙げて提案してきた。具体的な議論を歓迎している。



(録画中継 QRコード)



奥野詠子(自由民主党)

『備えよ、常に』危機管理体制の強化へ向けて!!

質問 令和3年度の組織再編に伴い、危機管理局を新設し、危機管理・災害対応の体制を強化することとしているが、どのような方針で体制強化を図るのか。

回答(知事) 危機管理部局を単独の部局とすることで、意思決定の迅速かつ機動的な体制を確立し、危機管理や災害対応に特化した集団としての機能強化を図りたい。災害

対応力の充実強化、県民の防災意識の啓発、消防や救急の支援など、県民の安全・安心の確保に積極的に取り組んでまいりたい。

特にゲリラ豪雨・豪雪対応は、危機管理の通年体制強化が必要です!



(録画中継 QRコード)



川島国(自由民主党)

富山湾の魅力向上、「とやまのさかな水族館」を提案

質問 米騒動を題材にした映画の全国上映など富山湾が注目されるこの機に、富山湾の魅力や情報を発信する施設として、「とやまのさかな水族館」の建設を提案する。

回答(知事) 今まさに富山湾を国内外にアピールする好機だと思っている。水族館については県内唯一の市立魚津水族館があり、県としては連携を図るなどして、その魅力向上や

情報発信に支援をしたいと思っている。

水族館から富山の歴史や文化、自然を学ぶことが出来る。観光誘客のみならず、その果たす機能は多様である。



(録画中継 QRコード)



澤崎豊(自民党新令和会)

魚津水族館って日本最古の水族館なんだって。

富山湾の珍しい生物がたくさん見られるんだ。



令和3年3月16日 予算特別委員会

豊かな暮らしの実現(DX推進による社会変革へ)

質問 令和3年度予算には、県立大学DX教育研究センター(仮称)の整備も計上されたが、センターの整備に至る背景や狙いについて、問う。

回答(政策監) DXについては、多くの課題解決、経済成長に大きな期待を集めている。社会全体として、今後DXを担う人材育成とDX分野の研究教育が必要。DXの研究と教育の中心施設とする他、県

内企業や他の大学など、産学官の連携拠点として整備したいと考えている。

人生100年時代、豊かな人生が送れるよう新しいデジタル技術を使い、その経験を活かして社会変革が必要。



(録画中継 QRコード)



八嶋浩久(自由民主党)

少子化対策について

質問 「第4子以上誕生お祝い事業」について、対象を第3子以上に拡充すべきと考えるがどうか。

回答(知事) 県立施設の利用料が減免となるパスポートの有効期限を平成30年度に第4子の生後6年間から小学6年生まで延長しており、今後も利用件数の増加が見込まれる。

杉本委員の大変な声量には圧倒された。対象拡大による効果と、割引対

象施設の負担なども十分考慮して、委員の提案も含めて考えてみたい。

少子化対策は県政の最重要課題である。わくわく富山、スピード県政の新田知事に期待したい。



(録画中継 QRコード)



杉本正(会派 至誠)

財政の健全化をしていく、成長戦略

質問 中小企業の成長・発展に向け、モデル事業の成功事例を増やすことが必要と考えるが、どう取り組むのか、問う。

回答(知事) 成功事例の創出に向けて、「とやまベンチャービジネス支援協議会(仮称)」を立上げ、関係機関とも連携した集中的な支援を行い、ベンチャーの成功事例を生み出す取り組みを進める。新設する「官民連携・規制

緩和推進課」において、必要な規制緩和も十分検討し、体制を整えている。

県内事業者が新規事業に取り組みやすい環境整備や成功事例による他事業者への波及効果の創出が必要。



(録画中継 QRコード)



渡辺守人(自由民主党)

北陸の十字路構想における呉西圏域連携について

質問 新高岡駅への「かがやき」の恒久的な停車と、JR城端線・氷見線の直通化・LRT化は、県西部6市と飛越能地域の発展に繋がると考えるが。

回答(知事) 新高岡駅は飛越能地域の拠点駅で、魅力向上は北陸の十字路構想にも意義がある。「かがやき」停車につながるよう、利用促進に取り組む。城端線・氷見線の直通化・LRT化は、県西部

地域の重要プロジェクトで、当駅の魅力アップに繋がる。持続的な運行を実現するため、沿線4市やJR西日本と検討を進める。

新高岡駅の利便性向上は、呉西圏域の連携を促進し、飛越能の発展や北陸の十字路構想にも意義がある。



(録画中継 QRコード)



酒井立志(自由民主党)

いつ起きるか分からない地震災害に備え、防災士養成を

質問 地震災害の危険は富山県も例外ではなく、平時からそれに備えた地域のチェックと住民の危機意識が必要とされている。それには防災士がいないと進まないが、石川県の約7,300人に対し本県は1,700人と遅れている。防災士養成を急ぐ必要があると考えるがどうか。

回答(危機管理監) 新年度から県の防災士養成研修の定員を200名に増や

し、避難所運営に女性の視点を取り入れるため女性優先枠を60名に増やしたい。

石川県では研修に中学生なども多く来るとのこと。地域だけでなく学校や事業所などにも防災士が必要です。



(録画中継 QRコード)



津本二三男(日本共産党)

備えあれば
憂いなしだね。



気候変動で
大きな災害が
増えてきているね。

令和3年3月18日 予算特別委員会

医療的ケア児の環境整備について

質問 医療的ケア児やその家族に関わる課題に対してどのように取り組むのか所見を問う。

回答(知事) 医療的ケア児の課題は今を生きる子どもたちやそのご家族に対して喫緊の課題です。市町村や支援を行う関係機関と連携協力をして、地域に医療的ケアができる看護人材をさらに養成することを通じて、少しでも御家族が休息できる環

境をつくり出していきたいと考えている。

医療的ケア児は近年増加傾向にあります。そのため環境整備が追い付いておらず、整備を進める必要があります。



(録画中継 QRコード)



大門良輔 (自由民主党)

令和2年度のコロナ対策支援事業の執行率について問う。

質問 補正予算を活用した各種関連事業は、適正かつ十分に行き届いていたのかどうか。

回答(厚生部長) 緊急包括支援交付金を活用し、医療・介護・障害福祉従事者への慰労金交付や入院病床確保・提供体制確保・継続への支援を行ってきた。予算8%の減額としたが概ねすべての医療機関、福祉施設等に対し、慰労金を交付し、対象19

医療機関全てに対し空床確保料の支援を行うなど、適正かつ確実な執行に努めてきた。

この一年間、命と暮らしを守る観点から、県の感染症対策や医療提供体制の拡充に向け集中して取り組んできた。



(録画中継 QRコード)



井加田まり (立憲民主党・県民の会)

北陸十字路構想が生まれるまでの経緯と未来像

質問 知事の北陸十字路構想に大いに期待するものだが、多くの先人の尽力があったことを心に留めておいていただきたい。この交通網は、富山県や石川県だけを見て活用するのではなく、信越、飛騨も視野に入れてこそ大きな効果を発揮すると思うがいかがか問う。

回答(知事) この構想が、そういった蓄積の上に成り立っていることを十分理

解し、今後ワクワクすることがたくさんある富山県を目指したい。

富山県は、陸海空ともに高い利便性があると思います。これらを活用して大きな展望が開けるよう期待します。



(録画中継 QRコード)



米原蕃 (自由民主党)

テクノドーム別館に整備予定の、ものづくり体験施設

質問 テクノドームには整備せず、現在取り組み中の市や民間のものづくり体験施設をサポートした方がいいのでは？

回答(知事) 広く関係の皆さんから意見を伺い、慎重な意見が多いようであれば、テクノドーム別館に常設のものづくり体験施設を設けることなく、例えば全国規模の会議がこの施設で開かれる時は、施設内で臨時的にもものづく

り体験を開催するなどの、見直しを図ることも含めて検討したい。

県と市で似た取り組みをせず、市や民間で頑張っている方を「サポートする」役割を県は担うべきと考える。



(録画中継 QRコード)



瀨川侑希 (自由民主党)

日医工問題は「くすりの富山」の信頼を揺るがす大事件

質問 県内医薬品産業の信頼が揺らぐ事態となっている。県として再発防止及び信頼回復にどう取り組んでいくのか。

回答(知事) この事態を大変重く見ている。県薬事審議会の下に専門部会を設置する。また外部有識者による調査委員会も設置し、調査・検証・対策を検討する。二度とこのような事態が起こらないように指導や支援を強化し、

医薬品産業全体の品質確保、信頼回復・向上に努めてまいりたい。

ジェネリック医薬品の国内最大手。「くすりの富山」の信頼回復に向け、官民一体となって取り組むことが必要。



(録画中継 QRコード)



井上学 (自由民主党)

予算の正しい使い方などを質問するのも議員の役割なんだ。

たくさんの課題があるんだなあ。

